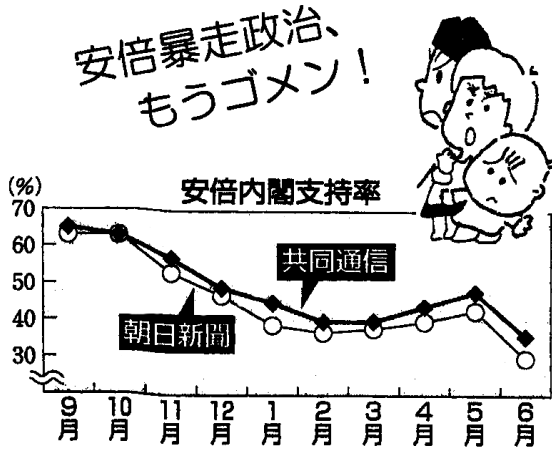


内閣支持率 成立以来最低



今国会は、問答無用の暴走国会、議会制民主主義も、国民の声も無視をして、数の力で自民・公明が数々の悪法を強行採決しました。

憲法改定のための「手続き法」国民投票法」、米軍基地強化・再編のための「3兆円負担法」（米軍再編推進法）や「自衛隊のイラク派兵延長法」、戦争する国の人づくりを狙う「教育3法」などです。

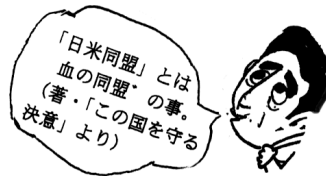
そのうえ、党略的な「会期延長」も企まれています。

何かなんでも「アメリカと一緒に戦争する、できる国」に日本をつくり変えよ

参院選で安倍・自公政権にきびしい審判を!

日本を「戦争する国」にはさせない!

日米安保を「血の同盟」にする動きが根っこに



うとする、この危険な動きの根っこにあるのは、いうまでもなく「日米同盟」安保体制」です。

世界中で軍事同盟は解体したり、機能停止に陥り、「平和の共同体」が広がっています。いくらアメリカが超大国だといっても、アメリカの思い通りに世界を動かすことはできない事はイラク戦争をみても明らかです。紛争は軍事力ではなく話し合いと外交によって解決していくというのが世界の大きな流れになっていくのです。

戦争を放棄した憲法9条をもつ日本こそ、平和な国際秩序を確立する上で大きな力を発揮すべき時ではないでしょうか。

現在の日米安保条約は、47年前の1960年6月23日に発効したものです。今は世界をにらむ危険な軍事同盟としてますます強化されています。